

トンボ遊学隊 2008 年調査

鈴子 勝也（貝塚市立自然遊学館）

はじめに

トンボ遊学隊21は、自然遊学館のボランティアグループのメンバーを中心にして1999年に結成され、貝塚市内におけるトンボの生息状況の解明、および貝塚市で見つかっていないトンボの確認などを目的として調査を行っている。貝塚市では2003年までに73種のトンボが確認されていて(井上・松田、2003)、その後も調査を続けているが(天満、2006)、確認種数は73種のままである。2008年は、ムカシトンボ、ナニワトンボ、ミヤマアカネの3種に注目して、東手川、千石荘牛神池、畑で調査を行った。また、上記の3種に関して、これまで貝塚市内において確認された記録をまとめた。

2008年の調査結果

2008年5月3日

参加者：鈴子晴久、鈴子佐幸、鈴子勝也

調査地：東手川（貝塚市蕎原）

ムカシトンボ科 ムカシトンボ（図1）



図1. ムカシトンボ（東手川2008.5.3）

2008年7月21日

参加者：天満和久、江本玲子、江本大地、鈴子晴久、鈴子佐幸、鈴子勝也

調査地：千石荘牛神池（貝塚市名越）

アオイトトンボ科 アオイトトンボ

イトトンボ科 クロイトトンボ、ベニイトトンボ、キイトトンボ

ヤンマ科 ギンヤンマ

トンボ科 リスアカネ、ナニワトンボ、ショウジョウトンボ、チョウトンボ、
コシアキトンボ、オオシオカラトンボ、ウスバキトンボ

2008年11月3日

参加者：天満和久、鈴子晴久、鈴子佐幸、鈴子勝也

調査地：畑（貝塚市木積）

トンボ科 アキアカネ

これまでの記録

注目して調査を行った3種について、2007年までに自然遊学館とトンボ遊学隊21によって確認された採集記録を表にまとめ、今回の調査も含めた採集場所の地図を以下に示した。

1. ムカシトンボ（表1、図2）

幼虫は山地の溪流に生息していて、成虫になるまでに、7～8年を要する。大阪府レッドデータブック（大阪府、2000）では、準絶滅危惧に指定されている。

表1. 2007年までに貝塚市内で確認されたムカシトンボの記録（貝塚市立自然遊学館記録分）

採集日	性別	場所	標高	採集日	性別	場所	標高
1993.05.08	♀	蕎原本谷	400m	1999.11.24	幼虫	蕎原東手川	620m
1993.05.12	♂	蕎原本谷	400m	2000.01.26	幼虫	大川	250m
1993.05.23	♂	蕎原本谷	400m	2000.03.29	幼虫	大川	250m
1993.05.25	♂	蕎原本谷	400m	2000.05.10	幼虫	蕎原本谷	450m
1993.05.25	♂	蕎原本谷	400m	2000.05.18	幼虫	蕎原東手川	620m
1993.05.29	♀	蕎原本谷	400m	2000.07.19	幼虫	蕎原本谷	450m
1995.06.20	♂	蕎原本谷	450m	2000.07.26	幼虫	蕎原東手川	620m
1997.05.17	♂	和泉葛城山～東手川	—	2000.09.22	幼虫	蕎原本谷	450m
1998.05.15	♂	和泉葛城山	850m	2000.09.30	幼虫	蕎原東手川	620m
1998.05.15	♂	和泉葛城山～東手川	—	2000.12.01	幼虫	蕎原本谷	450m
1998.05.15	♀	和泉葛城山～東手川	—	2000.12.01	幼虫	蕎原東手川	620m
1998.05.17	♂	和泉葛城山（山麓～山頂）	—	2001.01.29	幼虫	蕎原本谷	450m
1998.05.17	♀	和泉葛城山（山麓～山頂）	—	2001.02.05	幼虫	蕎原東手川	620m
1999.01.20	幼虫	蕎原東手川	620m	2001.03.12	幼虫	蕎原本谷	450m
1999.05.20	幼虫	蕎原東手川	620m	2001.03.16	幼虫	蕎原東手川	620m
1999.05.29	♂	和泉葛城山（山麓～山頂）	—	2001.05.28	幼虫	蕎原本谷	450m
1999.05.30	♀	和泉葛城山（山麓～山頂）	—	2001.12.03	幼虫	蕎原本谷	450m
1999.07.22	幼虫	蕎原東手川	620m	2002.08.04	幼虫	蕎原東手川	500m
1999.07.31	幼虫	大川	250m	2002.08.04	幼虫	蕎原東手川	500m
1999.09.09	幼虫	蕎原東手川	620m	2005.04.23	羽化殻	蕎原東手川沿い	415m
1999.09.29	幼虫	大川	250m	2007.05.21	♂	蕎原本谷	470m



図2. ムカシトンボが確認された場所(1993～2008)
詳しいデータに関しては、表1参照。

2. ナニワトンボ (表2、図3)

大阪府内では、平地や低山地の明るい池沼に局地的に生息している。アカネ（アカトンボ）属であるが、雄成虫は成熟しても体色が青い。

表2. 2007年までに貝塚市内で確認されたナニワトンボの記録
(貝塚市立自然遊学館記録分)

採集日	性別	場所	標高
1992.09.13	♂	半田海岸寺山	30m
1992.09.13	♂	千石荘	50m
1993.08.28	♂	千石荘	50m
1993.08.29	♂	千石荘	50m
1994.08.14	♂	千石荘	50m
1995.09.24	♂	千石荘	50m
1995.09.30	♀	馬場	-
1995.10.30	♂	千石荘	50m
1999.07.25	♂	千石荘	50m
1999.07.31	♂	千石荘	50m
2000.07.13	♂	千石荘	50m
2006.07.17	♂	千石荘	50m

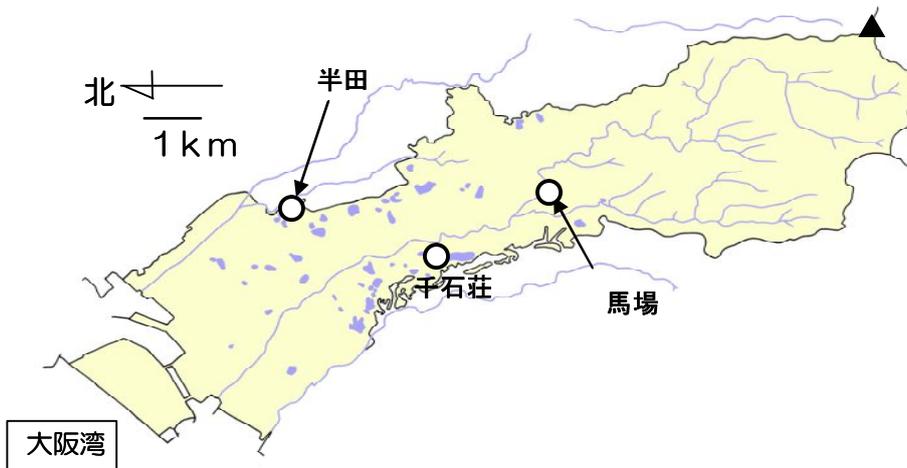


図3. ナニワトンボが確認された場所(1992～2008)
 詳しいデータに関しては、表2参照。

3. ミヤマアカネ (表3、図4)

アカネ (アカトンボ) 属では、珍しい流水にすみ、河川敷や水田脇の流れているところに生息している。今回の調査では確認することができなかった。

表3. 2007年までに貝塚市内で確認されたミヤマアカネの記録
 (貝塚市立自然遊学館記録分)

採集日	性別	場所	標高
1992.08.26	♀	木積(畑)	140m
1992.10.03	-	和泉葛城山	850m
1992.10.03	-	和泉葛城山	850m
1999.10.16	♂	木積(畑)	140m
1999.10.16	♀	木積(畑)	140m
1999.10.16	♂	木積(畑)	140m
1999.10.16	♀	木積(畑)	140m
1999.10.30	♀	木積(畑)	-
2001.10.27	♂	木積(畑)	160m
2001.10.27	♀	木積(畑)	160m
2002.10.05	♂	木積(畑)	140m
2002.10.05	♀	木積(畑)	140m
2004.09.15	♀	蕎原箱谷	220m
2005.08.25	♂	木積(畑)	140m
2005.08.25	♀	木積(畑)	140m

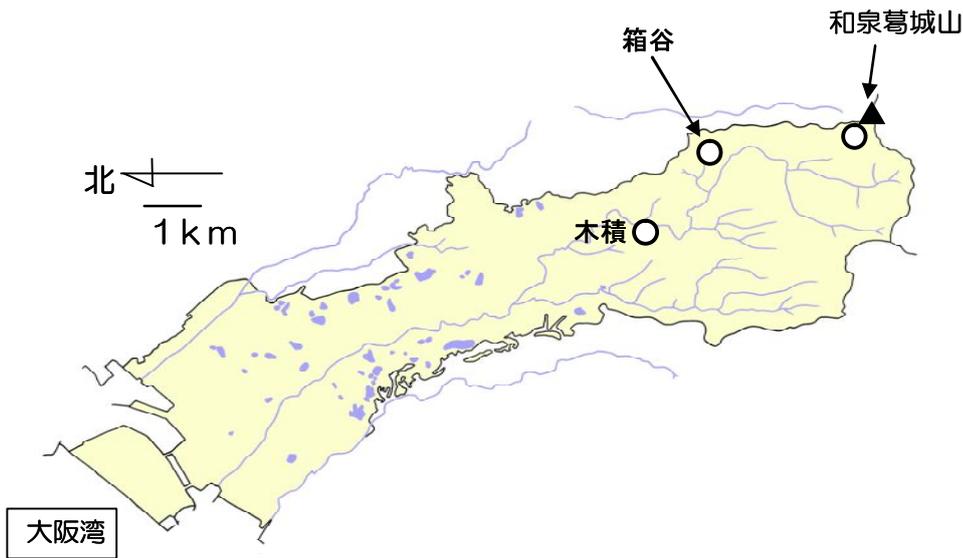


図4. ミヤマアカネが確認された場所(1992～2008)
詳しいデータに関しては、表3参照。

まとめ

今回の調査で、ムカシトンボ、ナニワトンボ、ミヤマアカネを調べたが、他にも個体数が減っている貝塚市のトンボはまだまだいるので、今後、調査をして調べていきたい。

引用文献

井上 清・松田 勲 (2003) 貝塚市のトンボ. 「貝塚の自然—貝塚市立自然遊学館創館10周年記念号—」. pp. 1-27.

大阪府 (2000) 「大阪府における保護上重要な野生生物—大阪府レッドデータブック—」. 441pp.

天満和久 (2006) トンボ遊学隊2005年調査. 貝塚の自然第9号：23-24.